

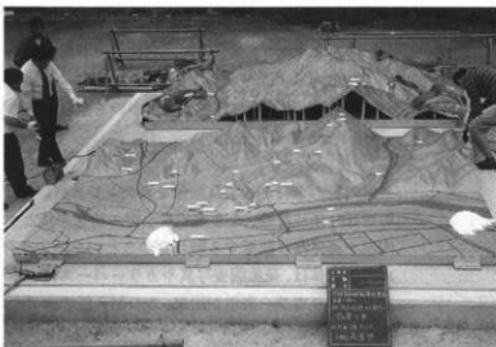




模型製作状況



模型製作状況



模型設置状況

## 4-4. その他の整備

環境整備という総合的な史跡整備の中で遺構保護、保存整備の他に来訪者の利便性を図り、公開施設整備項目を設定した。整備項目としては、便益施設（入口広場）、休憩施設（入口広場、二ノ丸）、案内板・順路標等とし、短期整備範囲内（歴史民俗資料館～月山山頂）に効率を考慮し配置及び設置を行った。

## ■便益施設

基本計画では2箇所以上に設置を予定しているが、今事業では来訪者の殆どが通行し、なおかつ遺構が明らかに存在しない入口広場のみの設置とした。構造、規模は木造平屋建とし、外観も下見板貼にコロニアル葺と簡素なものとした。

## ■休憩施設

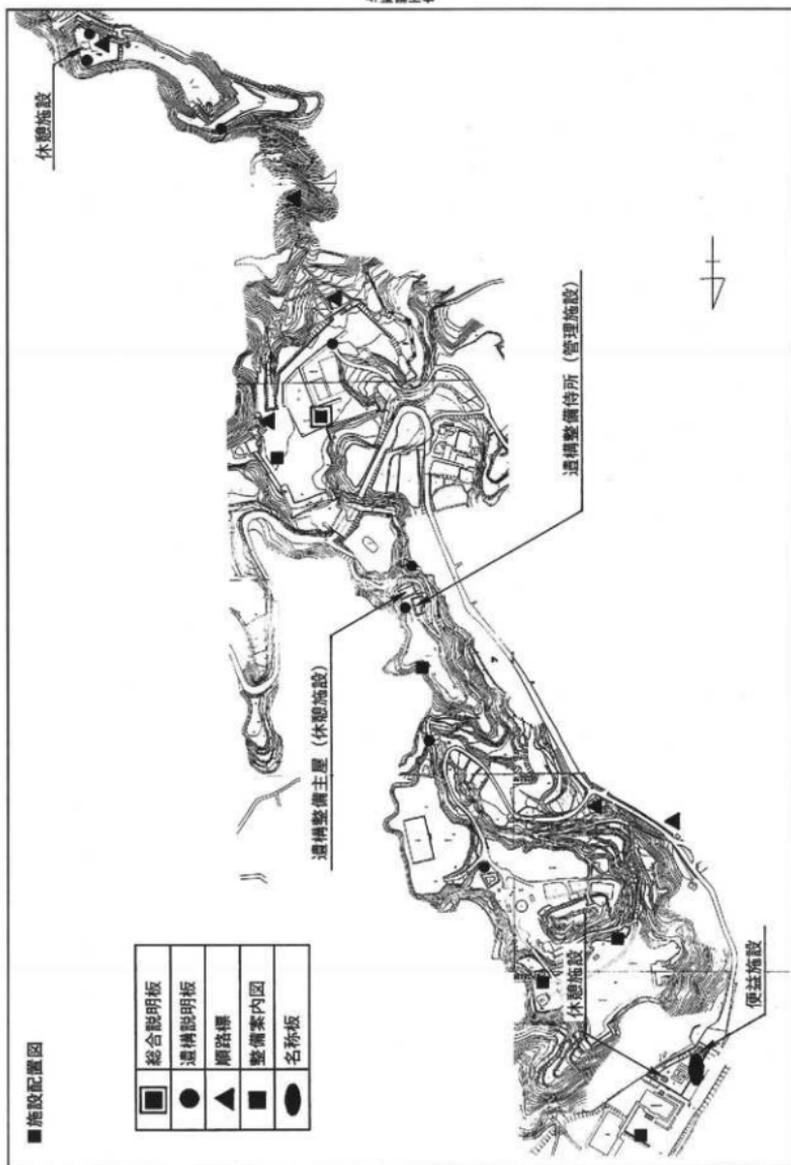
設置箇所は入口広場、山頂部二ノ丸とし、遺構整備で実施した花ノ壇主屋建物も公開手段として休憩のできるスペースとしているため計3箇所の配置としている。特に山頂部は急峻な七曲り通路を登るため休憩施設の設置は必要不可欠と考えられた。入口広場の四阿は便益施設と同様の外観とし、簡素な仕上げとした。二ノ丸の四阿については発掘調査により2間×3間の建物跡が検出されたため、遺構表示も兼ね、同位置・規模で設置した。外観は柱・梁を表す真壁で小舞組荒壁、中塗り仕上げとし、腰板貼、銅板葺という仕上げにし、周囲の景観を疎外しないような建物とした。

## ■案内板、順路標等

来訪者への遺構、歴史概要、現在位置等を示すため、以下の種類を説明板として設定した。

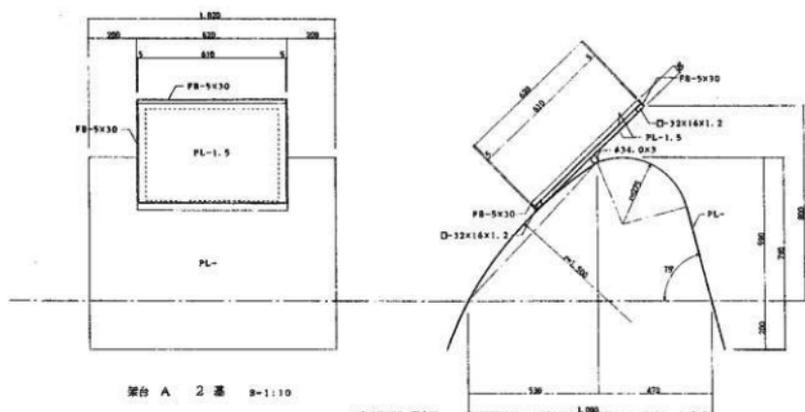
- 1) 総合案内板（山中御殿）…史跡の歴史概要、縄張紹介等総括説明をするために設置
- 2) 遺構説明板（各所）…遺構個々の説明や発掘調査結果などを示すために設置
- 3) 眺望図（二ノ丸）…山頂から見える景色（写真）を転写し、往時毛利家が本陣を構えた京羅木山や遠方の中海まで見える景観を説明
- 4) 園路案内図（各所）…園路全体をバース図に示し現在位置や次の順路を表示
- 5) 指導標（各所）…現在来訪者がいる曲輪の名称や欠印により次の順路が分かるよう表示

案内板の素材としては架台をステンレス製焼付塗装仕上げとし、各々の形状寸法に往時、なるべく最小限の構造形状とすることにより、曲輪内部や通路跡に設置する際目立つことのないよう努めた。表示をするための板自体は、発掘調査写真やカラーバースによる表示が必要であったこともありカラー表示が出来、かつ耐久性の面でセラミック板を採用した。

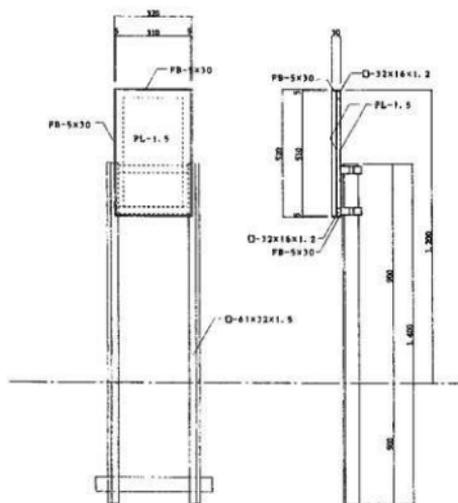




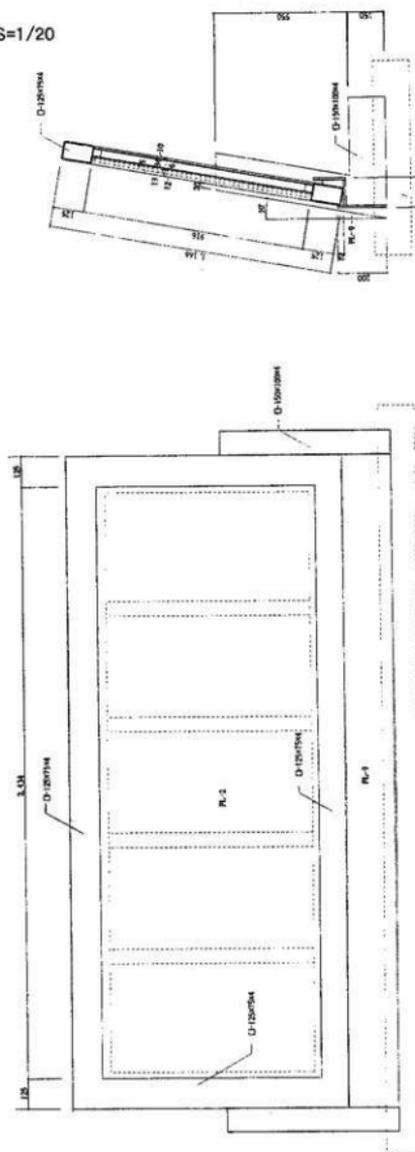
## ■説明板架台 / 遺構説明板, 指導標 S=1/20



架台 A 2 基 9=1:10

遺構説明板指導標

■説明板架台 / 総合案内板 S=1/20





休憩施設，便益施設（入口広場）



休憩施設と眺望図（二ノ丸）



総合案内板 (山中御殿)



遺構説明板



順路標

史跡富田城跡環境整備事業報告書

発行日 平成9年度3月31日  
発行・編集 広瀬町教育委員会  
〒692-04  
島根県能義郡広瀬町広瀬811  
印刷 有限会社 太陽平版  
〒690  
島根県松江市西津田7-15-1